

令和2年度
事業計画書

公益財団法人防府市文化振興財団

令和2年度事業計画書

I 令和2年度 基本方針

本財団は、平成23年4月に山口県知事から公益財団法人として認定され、令和元年度現在、公会堂、図書館など6施設の指定管理者として防府市から指定を受けており、各施設において様々な事業を企画運営し、市民文化と教育の振興に努めてまいりました。

今年度、文化事業では、「平井信行講演会」「バックンマックン講演会」、「魔法の美術館」、さらに音楽事業として「第19回防府音楽祭」、展覧会として「吉村大星展」を開催するなどし、好評を博しました。

山頭火ふるさと館事業では、企画展開催の他に財団他館との連携を図り、相互の事業発展につなげてまいりました。

科学事業では、春に「究める!マグネット展」、夏に「光のイリュージョン展2」、秋に「もぐもぐ探検隊」など、幅広い層の人々が、体験や展示見学を通じて科学への興味・関心を持つことができるような企画展を開催しました。

図書館事業では、「防府市図書館サービス振興基本計画」に沿って、市民のための図書館サービスを推進し、誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館、生涯学習活動の拠点として、地域の力を高める図書館を目指した活動を展開してまいりました。

令和2年度は、第3期指定管理完結の年にあたることから、これまでの事業を検証しながら次期指定管理につながる事業活動を展開してまいります。

文化事業については、引き続き、市民の皆様の芸術文化活動に資するため、「鑑賞」、「育成」、「普及」、「発表・支援」事業に取り組みます。特に、リニューアルオープンの予定の公会堂は、皆様のご期待に沿う事業を展開するとともに、会館の使用においても、これまで以上に利用しやすい施設になるよう努めます。

山頭火ふるさと館事業については、山頭火を顕彰、普及する施設としてはもちろん観光施設としての役割を果たすため、企画展をはじめとする様々な事業を推進してまいります。

科学事業については、前年度までの事業成果を踏まえながら、子どもから大人まで幅広い人々が、体験を通して、より科学を楽しみ、科学の面白さが伝わるような事業運営を目指します。

図書館事業については、図書館法等の趣旨に沿って適正な管理運営を行い、教育及び文化の情報拠点として資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、ボランティア・生涯学習グループ等と協働し、集会文化活動の推進に取り組めます。

本財団は、令和2年度においても、広く芸術文化、科学、教育に関する事業を通じて市民の皆様の心豊かな生活を育むべく、これらの事業に積極的に取り組んでいく方針です。

Ⅱ 令和2年度 事業概要

基本方針に基づき、定款の目的に沿った事業を展開することで、公益法人の使命達成に向けた取り組みを進め、防府市の文化振興を図ります。

また、収益事業についても、利用者のサービス向上につながる運営に努め、公益目的事業の財源として活用します。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

「市民一人ひとりが文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境づくりを行う」という本財団の基本理念に沿い、令和2年度においても、鑑賞、育成、普及、発表及び支援事業それぞれにおいて、市民の皆様に親しまれる幅広い事業を展開してまいります。

また、山頭火ふるさと館では事業運営を通じて山頭火の顕彰と継承に努め、文化の活性化に努めてまいります。

防府市公会堂・防府市地域交流センター（アスピラート）

(1) 音楽鑑賞事業

クラシックからポップスまで様々な質の高い音楽を、防府市民をはじめとする来場者の方々に提供し、音楽への興味・関心を高めていきます。

防府市公会堂の改修工事が終了し、新しく生まれ変わった防府市公会堂を市民の皆様にご覧いただけるよう大型公演など多彩な事業を企画し、音楽文化の裾野を広げるための取り組みに努めます。

また、防府市出身のアーティストを大切にするとともに、地域のニーズをつかみ、魅力的な音楽鑑賞事業を展開します。

ア クラシック

[主催事業]

- a 第20回防府音楽祭くほうふニューイヤーコンサート2021>

…2021年1月8日(金)～11日(月・祝)(予定)

会場：アスピラート、防府市公会堂他

- b (仮称) 澤和樹 室内楽コンサート…(開催時期未定) 会場：アスピラート

その他1～2本を予定

[共催事業]

1～2本を予定

イ 伝統文化

[主催事業]

- a (仮称)伝統芸能公演 …(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂
その他 1～2本を予定

ウ ポップス等

[主催事業]

- a ポップス等コンサート 1～2本…(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート
その他 1～2本を予定

[共催事業]

- a 吹奏楽の夕べ 2020 ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート
…2020年9月予定 会場：防府市公会堂又はアスピラート
b ポップス等コンサート 2～3本
…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂又はアスピラート

(2) 音楽育成事業

防府音楽祭への出演を含め、参加者の充実度をより高めるとともに、音楽を聴くだけでなく、参加することの喜びを体験できるようなカリキュラムで展開します。

- a こども合唱教室 …月4回(毎週土曜日) 会場：アスピラート他
b 弦楽合奏教室 …月2回(日曜日) 会場：アスピラート他
c 吹奏楽教室 …月4回(毎週月曜日) 会場：アスピラート他
d 合唱教室 …月3回(毎週木曜日) 会場：アスピラート他
e チェンバロ講座(全3回程度)…2020年8月～10月(予定) 会場：アスピラート

(3) 音楽普及事業

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味・関心を広げてもらうように普及事業を展開します。

[主催事業]

- a (仮称)音楽セミナー 田中雅弘の音楽旅日記18
…2020年7月12日(日) 会場：アスピラート
b (仮称)音楽セミナー …2020年8月頃(予定) 会場：アスピラート

[共催事業]

- a 室内楽セミナー …2020年7月17日(金)～19日(日) 会場：アスピラート他
その他 1～2本

(4) 美術鑑賞事業

本年度は、財団4館が連携するイベントを初めて開催するほか、東京オリンピック開催を記念してオリンピック関連の企画展を開催し、教育や観光など多方面からアートによる街づくり目指します。

[主催事業]

- a (仮称)「ふわふわシナモロール展&財団4館連携イベント」
…2020年4月29日～5月31日(予定) 会場：アスピラート
- b (仮称)企画展「スポーツ名場面集」
…2020年7月末～8月中旬(予定) 会場：アスピラート
- c (仮称)「アスピラートでクリスマス2020」
…2020年12月頃 会場：アスピラート
- d 美術鑑賞バス(2回)
 - …i)2020年6月頃(予定) 行先未定
 - …ii)2020年11月頃(予定) 行先未定

その他1本程度を予定

[共催事業]※名義共催

- a (仮称)ふるさとの匠たち～第13回「腕前探訪」
…2020年9月頃(予定) 会場：アスピラート

その他1本程度を予定

(5) 美術育成事業

美術展に併せた各種ワークショップや講座に加え、市民から要望の多い幼児から楽しめる造形ワークショップを、現役の小学校教諭と共同で企画・実施するほか、全県を対象とした小中高校生向けのデザインポスタープロジェクト等、より多くの子どもたちを対象として美術育成事業の充実を図ります。

[主催事業]

- a 「ゆめあーとひろば」6回程度実施
…2020年6月～2021年2月(予定) 会場：アスピラート他
対象・定員：幼児～小学生・300人程度

[共催事業]※名義共催

- a (仮称)瀬戸内デザイングランプリ2020受賞作品展
…2020年11月頃(予定) 会場：アスピラート
対象：山口県内の小中高校生

その他1本程度を予定

(6) 発表・支援事業

[主催事業]

- a フェスタアスピラート 2021(音楽部門)
…2021年3月7日(日)(予定) 会場:アスピラート
- b フェスタアスピラート 2021(美術部門)
…2021年3月5日(金)~3月7日(日)(予定) 会場:アスピラート

[共催事業]

- a 防府少年少女合唱団演奏会 …2020年7月19日(日) 会場:アスピラート
- b 防府吹奏楽団定期演奏会 …2020年10月頃
会場:防府市公会堂又はアスピラート
- c 防府弦楽合奏団定期演奏会 …2020年10月11日(日) 会場:アスピラート
- d 第27回能章まつり …2020年10月頃 会場:アスピラート

(7) その他の文化鑑賞事業

[主催事業]

- a プレジャーBのコメディ・クラウン・サーカス
…2020年5月30日 会場:アスピラート
- b 会員招待事業
講演会 …2020年10月(予定) 会場:防府市公会堂
- c その他音楽以外のジャンルの公演 1~2本
…(内容・開催時期未定) 会場:アスピラート

(8) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設づくりに努めます。

① 防府市公会堂

昭和35年の開館から60年近くが経過し、また舞台音響・照明設備の大規模改修工事から16年程が経過したため、経年劣化による修繕箇所が多数発生してきました。

この度、平成31年1月から令和2年3月までを予定期間として、防府市による大規模改修工事が行われており、主として耐震化並びに老朽化した大ホール客席椅子等の更新(1612席→1388席)が行われ、工事も終盤に差し掛かっているところです。

利用者の皆様方には、その間は全館休館となり大変なご迷惑をおかけすることとなりました。

会館の利用を再開する時期については、改めて防府市から発表されることになっていますが、再開の際には、大型公演の開催や貸館の充実を図り、市民の皆様方にご満足いただけますよう努めるところです。

② 防府市地域交流センター（アスピラート）

昨年度に続き、今年度も例年以上にたくさんのお客様のご利用が見込まれます。こうした状況を踏まえ、施設のご利用等について、よりわかりやすく柔軟な対応ができるよう窓口での対応やWEBサイトの充実を進めます。

また、限られた人員でより多くのお客様に満足を得ていただくために、事前の段取りの確認、業務の効率化を実施し、迅速で丁寧な対応を目指します。

施設面では開館から21年を経過し、老朽化による不具合箇所が多数出てきています。お客様の安全と満足を保証するためにも、日常点検を強化し可能な限りの修繕と計画的な更新に努めてまいります。

また、地域社会との連携活動を推進します。昨年と同様、社会見学やインターンシップの要請があれば、積極的に受け入れていきます。毎年恒例となっているバックステージツアーも開催し、より多くの市民にアスピラートに親しみをもってもらおうきっかけづくりに努めます。

（9） 財団会員の運営管理

防府市文化振興財団では、文化事業をはじめ財団の各事業について、市民の皆様にご理解とご支援をいただく財団会員の募集活動を実施しています。会員特典として「財団通信」（隔月発行）の配布や会員先行販売・割引などを実施しています。

平成29年10月に開始した財団メールマガジンでは、防府市文化振興財団の各施設でのイベント最新情報をパソコン・スマートフォンなどに毎月1回以上発信しています。

今後も事業活動を通じ有意義で魅力のある取組みを展開し、財団会員の増加を図ってまいります。

山頭火ふるさと館

山頭火ふるさと館には、

- 1 山頭火を顕彰・継承する記念館としての文化施設としての役割
- 2 学校や公民館等と連携してあらゆる世代の人たちが学ぶ教育施設の役割
- 3 「うめてらす」等と連携して新たな人の流れをつくり、防府市を活性化する観光施設としての役割

以上3つの役割が求められています。その3つの役割を踏まえて、運営事業・研究普及事業・収益事業・管理業務を推進して参ります。

(1) 運営事業

山頭火ふるさと館の案内や催し等について、市民ボランティアとの協働を推進し、来館者や市民に親しまれる館運営を目指します。

① 案内業務

山頭火ふるさと館は入館無料であり、多くのお客様が来館されますので、受付カウンターには常時職員を配置し、来館者に対する施設の総合案内や主催事業への参加誘導等を行って、一人でも多くの方に山頭火の世界に触れていただくよう努めます。

② ふるさと展示交流室の運営業務

交流室については、通常は多くのお客様に気軽に利用していただけるスペースとして無料開放し、山頭火のふるさと防府の様々な情報発信ができるよう努め、施設の有効活用を図ります。

交流室を専用して使用するための申請があったときは、市の条例及び規則に基づいて、使用許可等の事務を適正に実施します。

③ 広報活動

全国におられる山頭火ファンに向けて、各種メディアを活用して山頭火に関連する情報発信を積極的に行うことにより、山頭火や自由律俳句に親しんでいただき、山頭火ふるさと館へ足を運んでいただけるよう努力します。

ア ホームページ・Facebook での情報発信 随時

イ 山頭火ふるさと館報の発行 年二回

ウ 年間企画展案内の配布

エ 山頭火ふるさとラヂオ (FM わっしょい) 月一回放送

オ その他各種メディアの活用

(2) 研究・普及事業

① 収集・保存

山頭火ふるさと館の収蔵資料は、大切に整理・保存して確実に後世に継承します。

また、館の収蔵資料の充実のため、山頭火やその関連の資料の収集に努めます。

収集した資料のうち、図書については、来館者にも事前申請なしで閲覧していただけるサービスを運用します。

② 調査・研究

館収蔵の資料については、学術的な調査・研究を行い、その成果を展示や館報など様々な形で発信して活用に努めます。また、次年度の特別企画展に関する資料の調査もおこないます。

また、全国唯一の山頭火の専門施設として、他の施設や研究者と交流し、山頭火に関連する情報の収集に努めます。

③ 展示活動

ア 特別展示室

山頭火や自由律俳句の魅力等を観覧者に伝えるための企画展を開催します。

・令和2年3月13日（金）～5月31日（日）

令和元年・2年度企画展（財団連携事業）

「響き合うことば ～山頭火 句の広がり～」

・6月5日（金）～9月13日（日）

企画展「山頭火に出会った人々」（仮）

・9月18日（金）～令和3年1月11日（月・祝）

山頭火没後 80 周年記念企画展「山頭火からの便り ～旅を記す～」（仮）

・1月16日（土）～3月31日（水）

企画展「山頭火句の中の生き物」（仮）

イ 常設展示

導入展示室と常設展示室では、山頭火の生涯や人間的な背景を紹介するパネルと資料を展示します。常設展示室の資料は、劣化を防ぐため、年一回程度一部入れ替えをします。

ウ ふるさと展示交流室・市民ギャラリー

ふるさと展示交流室では、毎月「今月の一句」を選んで掲示し、来館者に紹介します。館所蔵の書籍で保存状態が特に良好なものについては、ふるさと展示交流室に設置して来館者が自由に読めるようにします。また、来館者ノートを置いて、感想等を記入していただけるようにします。そのほか、山頭火関連の写真等の展示をおこない、随時展示を入れ替えます。

市民ギャラリーでは、市民の方々による文化・文芸活動の発表の場としてだけでなく、展示室への導入として山頭火を紹介する展示もおこないます。

④ 教育普及活動

「山頭火をうたい 山頭火にしたしみ 山頭火をつたえる」ことを目的に、山頭火や自由律俳句等をテーマとしたセミナー、ワークショップ等を企画し、ふるさと展示交流室を利用して開催します。

ア 山頭火を学ぶ会 月一回、5回シリーズを二度開催

イ 自由律句を学ぶ会 月一回、通年10回

ウ 自由律句で遊ぼう（小・中学生対象） 通年8回程度

エ 自由律俳句大会 年一回募集・2月表彰

オ フォトコンテスト 年一回募集・8月表彰

カ 書道コンクール（市内小・中・高校生対象） 年一回募集・10月表彰

キ 山頭火没後80年記念イベント 10月

- ク ほかに企画展関連イベント 数件
- ケ やまぐち文学回廊推進協議会との連携事業（文学散歩）
- コ ちびっこ自由律俳句大会（仮称）7～9月頃（市教育委員会等との共催事業）
- サ その他

小・中学校等の社会見学を積極的に誘致します。なお、団体利用等の観覧者から要望があったときは、職員が解説を行います。また、依頼があったときは、市内や県内の公民館や各種行事等への出前講座もおこないます。

⑤ 交流活動

市民ギャラリーやふるさと展示交流室等を利用して、文化協会等と連携し、市民の作品等を展示することで、市民の文化活動を支援し、市民文化の振興を図ります。

また、市内の新たな文化施設として、うめてらすネットワークとの連携や、地域住民団体等と良好な関係を築くよう努め、地域の行事・企画等に積極的に協力することによって、地域の文化発展に貢献してまいります。

- ア うめてらすネットワーク ハンドメイド市 4月
- イ 愛情防府フリーマーケット 10月
- ウ すごいぞ！防府 11月
- エ ふるさとコール 山頭火句の歌の練習 毎月第三木曜

⑥ 本財団内部の連携事業

本財団の施設である地域交流センター・青少年科学館・視聴覚ライブラリー・図書館等の事業と山頭火ふるさと館の事業との連携を図って相互の事業発展につなげていくことを目指します。

- ア 「アナザー・ワールド 防府でちょっと違う世界を見てみませんか」

また、他施設にも投句箱や「今月の一句」を設置する等、財団全体で山頭火ふるさと館の事業を支援します。

（3）管理業務

①施設・設備・備品の維持管理と環境整備

施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を適切に実施し、日常のかつ計画的な清掃業務を行うことにより、来館者が安全で快適に利用できる環境整備に努めます。

②保安・警備・防犯対策

山頭火ふるさと館は入館無料であり、誰もが自由に入出りできる環境にあるため、職員による定期的な見回りや監視カメラの活用により、常に的確な館内・館外の状況把握・防犯管理に努めます。

安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、利用中止や退館の措置を講じるなど、必要に応じて警察への通報を踏まえた毅然たる態度で対応します。

③危機管理

自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理マニュアルや危機管理体制の整備、消防法等の関係法令に基づく定期訓練の実施、救急救命講習会等への定期的な参加等により、全ての職員が、緊急事態の発生や危機を迅速に認識し、的確な対応が取れるよう備えます。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された防府市青少年科学館は、「科学を、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組んでおります。

令和2年度は、これまでの事業成果を踏まえ、科学好きな子どもたちの育成のために継続しなければならない日常事業と、季節ごとに魅力的な企画事業を実施します。

なお、令和2年度は、第三期指定管理期間の最後の年となることから、次期の指定管理者となることを目標に運営や事業の検討をしております。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

平成30年度と令和元年度は、防府市の企業版ふるさと納税による資金で、常設展示の一部リニューアルが行われ、青少年が体験し、楽しみながら、科学の面白さや不思議さをより興味をもって学習できる展示物を導入していただきました。

また、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなども来館者に大変人気があることから継続して行い、科学を楽しく学ぶ機会を提供します。

科学館での体験をきっかけに科学に興味をもち、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう、教育普及事業を展開します。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催します。月ごとにテーマを変え、科学的な原理、原則や、道具の使い方などを学習できる教室です。

イ サイエンスショー

科学の原理をショー形式で紹介し、楽しみながら科学への興味を深めます。土・日・祝日に実施するとともに、平日は学校団体からの要望にもお応えします。団体

の利用については、学年や目的に応じた内容のショーを実施し、科学への興味、関心を育みます。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施します。少人数の講座で、科学を掘り下げて学べます。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、身をもって科学の不思議な世界を体験し、科学を楽しみつつ、抱いた疑問を解決へ導き、科学への興味や関心をより深めることができる事業を展開します。一年間を通してより多くの人々が来館されるよう、魅力的で多様な企画を実施して、科学に親しむ機会を提供します。また、企画に関連した講座なども行います。

ア 春休み工作教室

【令和2年4月1日（水）～4月7日（火） 7日間】

学校の春休み期間中に、各種工作教室を実施します。材料費が必要な工作教室と、材料費なしでも随時参加できる教室を設け、子どもたちがより多くの体験ができるようにし、充実した春休みを過ごせる学びの場を提供します。

イ 企画展「ダブル・イメージ展（仮称）」

【令和2年4月25日（土）～6月7日（日） 38日間】

「アナザー・ワールド -防府でちょっと違う世界をみてみませんか-（仮）」（スタンプラリー）をテーマにした財団連携事業の一環として開催する企画展です。

「古典的多義図形」、「変身立体」、「シルエット立体」や「ハイブリット画像」など、2つ以上の視点・解釈をすることができる、不思議な作品を数多く展示します。

これらの二つの方向から見たとき、全く別の形に見える作品を体系的に展示し、目でものを見て認識するときの脳の働きを考えるヒントを提供することを目的に開催します。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

【令和2年6月13日（土）～6月28日（日） 14日間】

公益社団法人発明協会が、次代を担う青少年の科学的な探究心と創造力の伸長をはかることを目的として開催している「第42回未来の科学の夢絵画展」の全入賞作品を展示します。

エ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2020」

【令和2年7月18日（土）～8月2日（日） 14日間】

当館が毎年開催している夏休み恒例の特別企画です。講師に、小学校から大学までの先生方、企業や他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の講座を

実施します。また、予約なしで参加できる工作コーナーも実施します。

オ 企画展「スポーツを科学する Let' s try! Let' s sport! (仮称)」

【令和2年8月7日(金)～9月6日(日) 27日間】

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに合わせ企画展を開催し、スポーツがもつ楽しさや科学的な原理を解き明かしながら、人間の能力や機能との係り、スポーツと健康を身近なものとしてとらえる展示で、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした参加体験型の企画展です。

スポーツをテーマにした企画展を開催することで、市民をはじめ多くの方々に、スポーツに興味をもっていただき、スポーツを支えている科学技術への興味・関心を喚起させることを目的に開催します。

カ 防府市小中学校科学作品展

【令和2年9月24日(木)～9月27日(日) 4日間】

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学校の児童・生徒の夏休み自由研究・工作から校内選考で選ばれた優秀作品を展示します。

キ 企画展「ミラクルワールド! 万華鏡展(仮称)」

【令和2年10月24日(土)～12月6日(日) 38日間】

万華鏡を、鏡や光といった“科学的視点”と美しいデザインといった“芸術的視点”の2面を織り交ぜて、「万華鏡の科学」、「万華鏡の美」、「最新の万華鏡」といった3つのコーナーで構成し、巡回展ではない「万華鏡」をテーマにしたソラールオリジナルの企画展です。

芸術品としても有名な「万華鏡」を通して、当館のテーマの1つである“光”と鏡の科学を、幅広い年齢層が楽しみながら体験し学んでいただくことを目的に開催します。

ク ソラールのクリスマス2020

【令和2年12月19日(土)～12月20日(日) 2日間】

館内にクリスマスデコレーションを施した温かな雰囲気の中、クリスマスらしい工作教室やビデオ上映などを行います。

ケ 特別展「国際周期表年特別展(仮称)」

【令和3年1月23日(土)～3月7日(日) 38日間】

2019年は、メンデレーエフが元素の周期律を発見してから150周年という記念の年でした。

国際周期表年実行委員会は、これを記念して、現代までの周期表の変遷、元素発見の歴史と日本人元素・材料研究者の活躍、海外の周期表や日本人作家によるユニークな周期表などを展示し、周期表や元素を実物と体験で楽しく学習

できる巡回展示「国際周期表年2019特別展」を制作しました。

当館でも、科学館の役割の一つとして、これらの展示物を借用し、鉱物や都市鉱山といった科学技術と生活の関係や、日本人研究者の活躍などわかりやすいパネルや実物、そして、体験型展示で紹介します。

難しいと思われている元素の世界を分かり易い展示で紹介することにより、多くの方々に興味と理解を深めていただくことを目的に開催します。

(2) 情報収集保管事業

太陽望遠鏡による太陽観測映像や、科学に関係した資料を収集保管します。また、収集した資料を使った展示や学習支援活動により、科学や科学技術に関心を持ち、考える機会となるよう、所蔵資料の効果的な活用に努めます。

(3) 啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行い、地域の科学教育の推進に努めます。また、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みます。

(4) 学校連携及び外部連携事業

① 学校連携事業

市内の小学校への出前講座や機器の貸出しなどを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行います。また、希望者が増加傾向にあるインターンシップをはじめ、職場体験学習、学芸員実習により、人材育成支援も行います。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体、並びに科学系博物館加盟上部団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができるアウトリーチ活動や科学教室、企画展の開催を目指します。

また、外部の団体と連携することで、社会に根差した科学館となるよう努めます。

③ 防府市少年少女発明クラブ

防府市少年少女発明クラブでは、ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」のメンバーが指導員となり、子どもたちが主体的に学びながら、楽しんで活動しています。

様々な活動の中で、ものづくりにも挑戦しています。作品の一部は、ソラールのクリスマスで展示しています。また、公益社団法人発明協会主催の「未来の科学の夢絵画展」への参加など、科学的な創作活動を続けている発明クラブの活動を引き続き支援します。

(5) 科学教育指導員派遣事業

増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識・技術をもった人を指導員に育成したり、指導員のスキルアップの支援をしたりして、科学教育指導員派遣事業を更に充実させます。

(6) 情報提供活動

ホームページをはじめ、「そらーる通信」や「ソラール年報」で活動の情報や実績を広く紹介します。また、財団通信や市広報、報道機関への情報提供にも努め、積極的にPR活動を行います。

そのほか、小学校の社会見学など団体利用の誘致を進め、施設の利用促進に努めます。

(7) 財団会員特典

これまで、芸術文化など科学とは異なる分野に興味があり科学館を利用されなかった方にもご来館のきっかけとなるよう、平成28年度から開始した防府市文化振興財団の会員に対する割引を継続します。さらなる利用促進に向けて、身近なテーマを取り上げるなどして、利用者の裾野の拡大に取り組みます。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

視聴覚教育の振興を図るため、学校教育や社会教育における学習支援につながるような事業に取り組んでまいります。

(1) 視聴覚教材や機材の計画的な充足

視聴覚教材や機材に対する利用状況や利用者の要望を分析するとともに、運営委員会などで検討をして、具体的な充足計画を策定します。

充足計画に従って教材などを整備し、整備した教材などの内容を利用者に紹介し、利用促進を図ります。

(2) 視聴覚教材や機材の貸し出し

学校、社会教育施設などに、DVDなどの教材、プロジェクターやDVDプレイヤーなどの機材を貸し出します。

教材の目録については、防府市視聴覚ライブラリーのホームページで検索できるよう、引き続きデータの整理、更新を行うとともに、追録も作成して、市内の教育施設などの利用者に配布します。また、機材の保守点検に努め、利用者の要望に応えられるよ

うに努めます。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

科学館の事業内容に適する教材を選定して上映することにより、科学館運営事業を支援します。また、12月に実施する「ソラールのクリスマス2020」に合わせたクリスマス上映会を行い、科学館の魅力づくりにつなげます。

(4) 市内小学校の巡回ビデオの支援

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された教材(DVD)が市内小学校を巡回する「巡回ビデオ」の実施に伴い、各小学校に教材を配送し、小学校の視聴覚教育を支援します。

(5) 講習会の開催

地域住民の視聴覚教材制作への関心を高め、技術の向上を目的とした視聴覚機器の技術講習会を開催します。また、児童、生徒や社会教育施設の職員など市民の放送技術向上などにつながる講習会を開催します。

(6) ホームページの充実

自主制作の「地域教材ビデオ」などについて、防府市視聴覚ライブラリーのホームページから自由に閲覧できるよう、引き続き整備・更新します。

4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

「私たちの目指す図書館像－防府図書館の任務と目標－」を具体化した「防府市図書館サービス振興基本計画」に沿って、市民のための図書館サービスを推進します。

(1) 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

① 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

ア 資料収集業務

図書館資料の適正な選書・収集を、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実を図ります。図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊。視聴覚資料の購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点。

イ 資料分類・目録整備業務

資料の受入れに際しては、体系的・継続的に管理するための迅速・正確な資料組織化・装備を行います。資料受入れ時に、日本十進分類法新訂10版に基づく適切な書架分類と配列、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）の検索画面等を提供します。

ウ 書架管理・蔵書点検業務

書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料を迅速に処理し、10月と3月に全開架資料の蔵書点検を行います。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行います。

エ 資料提供業務

窓口カウンターでは、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、正確、迅速に行います。また、個人情報保護の観点から自動貸出機の利用奨励を図り、より利用し易い環境の整備に努めます。

② 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

ア コンピュータシステム管理業務

コンピュータシステムの円滑な運用により、サービスの強化を図ります。Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自ら読書履歴を管理する読書手帳、Web上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用により、図書館利用の促進を図ります。

イ 情報発信（広報）業務

ホームページ上の情報を随時更新して内容の整備を図り、電子媒体による情報発信の充実に努めます。また、月刊の「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」等の広報紙や行事チラシを発行するとともに、市広報「ほうふ」、防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」、防府市文化振興財団広報紙「メールマガジン」及び「防府市メールサービス」に、記事を定期的に掲載します。地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等のメディアも活用します。

ウ 図書館年報作成業務

「令和元年度図書館年報」（一般用版・子ども用版）を作成し、冊子及びホームページで公表します。

エ サービス環境整備・安全対策・危機管理業務

施設・設備・備品の点検を日常的に行い、適正な清掃業務を実施して、安全で快適な利用環境の整備に努めます。図書館は不特定多数が利用し、自由に出入りできる場であることを踏まえ、施設管理会社・警備会社・警察等と連携して、的確な状況把握と防犯管理に努めます。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応します。自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理体制の不断の改善、年2回の定期消防訓練、普通救命講習会等の

実施により、全職員が、緊急事態や危機に際し的確な対応が取れるよう備えます。

オ 利用マナー啓発業務

日常的に利用マナー向上のための啓発活動に努めるとともに、7月1日から8月31日まで「マナーアップキャンペーン」を実施、併せて幼児から小学生までを対象とした啓発イベント「グッドマナーチャレンジ」を行います。

③ 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

ア 移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車「わっしょい文庫」に常時約3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回します。業務を適正に運用するため、コース、ステーション等は、半年毎に見直しを行います。また、市内各地で開催されるイベント等に合わせ、移動図書館車の臨時出張サービスを行います。

④ 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

ア レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務

資料相談カウンターでは、司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行います。児童カウンターにおいても、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援します。また、参加登録をしている、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進や、「レファレンス協同データベース」の活用を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり、利用者をこれらの機関へ案内・紹介したりするレフェラルサービスを行います。レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の充実にも努めるとともに、レファレンス研修やフロアワークの強化に努めます。

イ 図書館資料の複写サービス業務

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施します。

(2) 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

① 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

ア ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

- ・「第10回防府市子ども読書フェスティバル」（5月24日（日）開催）
- ・「第30回防府図書館まつり」（10月開催）

上記のイベント等について、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催し、図書館事業への市民参画の推進を図ります。

② 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

ア ボランティア活動推進業務

- ・「防府図書館ボランティア連絡会議」（1月開催）

図書館ボランティアの現状と課題について、図書館とボランティアとが認識を共有し活動環境を整備していくため、情報や意見を交換する会議を開催します。

- ・「図書館ボランティア養成講座」（2月頃4回シリーズで開催）

図書館ボランティアの裾野の拡大と活動内容の向上を図るため、必要な基礎知識の習得と技術の向上に資する講義・演習を行う講座を開催します。

(3) 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

① 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

ア イベント・懇談会業務

- ・「トークイベント」（5月24日（日）開催）

「第10回防府市子ども読書フェスティバル」において、詩人・絵本作家の林木林氏によるトークイベントを開催します。

- ・「防府図書館ビブリオバトル」（5月・11月・3月開催）

読書推進活動の一環として、小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム、ビブリオバトル（知的書評合戦）を開催します。

- ・「防府図書館利用者懇談会」（11月開催）

利用者の意見や提言を直接聴いてサービスの向上を図るため、参加者を募集し利用者懇談会を開催します。

イ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、それぞれテーマを設定し、定期的に行います。新聞・雑誌コーナー壁面では、市民や行政機関等が主催の絵画・写真その他の作品展覧会を開催します。

② 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

研修室他、集会スペースの利用許可業務を適正に行い、生涯学習グループに学習の機会・場・設備・資料等を提供して、図書館での活動の支援に努めます。研修室については、利用予定の無い日に学習室として開放します。

(4) 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

① 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 地域（郷土）資料収集業務

地域（郷土）資料、特に防府市関連の資料について、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めます。年間地域（郷土）資料収集目標冊数450冊。

② 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

ア 上山満之進と三哲文庫顕彰業務

展示室内の常設展示「上山満之進と三哲文庫」について、随時、展示替えを行います。

イ 「防府史料」刊行業務

地域史料等を翻刻または復刻し、ホームページ上にも掲載する「防府史料」刊行業務は、第70集を発行します。

③ 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づいて、100冊程度の資料を相互に寄贈・受贈し、受贈資料を市民の利用に供します。

(5) 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

① 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

ア 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や市立小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の貸出や学校用貸出文庫の利用促進を図るとともに、学校司書研修の機会や場の提供に努めます。

イ 「地域文庫」・団体貸出業務

地域における読書活動支援業務の一環として、市内15ヶ所の公民館に設置している「地域文庫（配本所）」の利用促進に努めます。また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫の利用促進に努めます。

② 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

ア 他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等を積極的に展開するとともに、文書館や博物館・美術館等との連携強化に努めます。

イ 本財団内連携業務

毎月1回、財団内連携推進会議を開催し、委員7人による各館の事業等に関する情報交換や、連携業務の展開について協議を行います。地域交流センター（アスピ

ラート) や市公会堂・青少年科学館(ソラール)・山頭火ふるさと館で開催される企画展やイベントに合わせ、関連図書の展示やブックトーク、おはなし会等を行うとともに、ミニブックリストやパスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の作成・配付をします。また、「紅葉どんぐり便」の受付を本館や移動図書館車でも行い、これに関連した連携業務を行います。山頭火に関する資料や情報の収集等について連携するとともに、山頭火の「今月の一句」とその解説を展示します。

(6) 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

① 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

ア 子ども読書活動推進業務

- ・「子ども図書館員」(7月～8月2回開催)

子どもたちの図書館業務への理解を深め、読書活動を推進するため、夏休みに小学校4年生～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催します。

- ・「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」(8月～9月実施)

子どもたちの、資料を使って調査研究する能力を育むため、市内の小中学生を対象とした「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催し、学習能力の向上と図書館利用の促進・啓発に取組みます。また、コンクール参加希望者を対象に、テーマの決め方や調べ方について助言する「調べる学習にチャレンジ！」(7月～8月)を開催します。

- ・「読書感想文教室」(7月～8月開催)

子どもたちの読書活動を推進し、文章を書く力を育むため、夏休みに小学校中学年・高学年を対象とした「読書感想文教室」を開催します。

- ・「おはなし会」(家庭の日・クリスマス)

家庭における大人と子どもの読書活動を推進するため、家庭の日やクリスマスに「おはなし会」を開催します。

- ・職場体験・図書館見学等の奨励

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等を奨励し、図書館への理解促進と利用拡大に努めます。

- ・出張イベント

市内の公共施設等に出張し、おはなし会等のイベントを開催します。

② 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア ボランティアとの連携・協働業務

ボランティア主催の諸行事・研修等において、図書館職員のブックトーク等を実施し、連携・協働を推進します。

(7) 障害者や高齢者に優しい図書館

① 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

ア 障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務

障害者・高齢者への資料・情報提供サービス向上のため、点字付き触る絵本・大活字本・音声資料等の整備・充実、本館や移動図書館車での利用促進に努めます。また、「障害者サービスのご案内」リーフレットの点字版・音訳版、視覚障害者用音声付インターネットサービスの周知に努めます。

② 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

ア 対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務

ボランティアと連携し、対面朗読サービス・音訳図書製作等の推進に努めるとともに、障害者への郵送貸出サービスについて、周知と利用促進に努めます。

③ 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

障害のある利用者のためのボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進に努めます。

5 収益事業

利用者のサービス向上につながるよう、チケットの受託販売や青少年科学館と山頭火ふるさと館のショップ運営などを展開します。

これらの事業で得た収益は、公益目的事業の一層の充実を図るために活用します。

(1) 有料駐車場

防府市公会堂有料駐車場については、今回の公会堂大規模改修工事を契機に営業を休止しています。

公会堂工事完成後の営業については、機器の老朽化により直ちに再開できる状態ではありませんので、引き続き休止いたします。

今後の運営方針については、防府市との協議が決定次第お知らせいたします。

なお、管理上経費が必要となることも考えられるため、予算立ては継続いたします。

(2) チケットの受託販売

公会堂、地域交流センターでは、他館で開催されるチケットを積極的に受け入れ、利用者のサービスに努めるとともに、チケット購入で来館されたお客様に、本財団で実施

する事業を知っていただく機会にします。

(3) 青少年科学館ミュージアムショップ

防府市青少年科学館の魅力向上や利用者の利便性を図るため、ミュージアムショップを運営します。

質が良く信頼性の高い商品、科学的で生活の中に共有できる商品を提供することで、お客様の満足度を高めるとともに財源の確保につなげます。

また、科学館の教育目的に関連させた商品の取り扱いを増やすことにより、科学館での体験をより豊かにするようなショップの運営に努めます。

(4) 山頭火ふるさと館ミュージアムショップ

受付横のミュージアムショップで、山頭火に関する書籍や物品など、山頭火ふるさと館来館の記念になるような物品を販売します。